

**市民広聴会「まちづくりエリアミーティング（第5回）」**  
**意見交換内容まとめ（概要）**

<テーマ> 市政全般

日時	令和4年10月30日（日）10時～11時30分
会場	額田センター・こもれびかん
出席者	市長、参加者33名

回答については、当日の意見交換内容に加え、市の今後の対応予定等も記載しています。

参加者意見	回答
<p>&lt;防災無線と森林の管理について&gt;</p> <p>額田地域の防災無線がもうすぐ無くなると聞いています。SNS、インターネットといった代替案はあると思うのですが、特に高齢者は付いていくことができず、非常に困ります。</p> <p>次に、額田の道路についてです。額田の道路は山や森の中を走っていますが、交通量が増えてきています。予期しない事故、倒木、滑落の危険があり、腐った枯損木が道路に落ちて車に損害を与えることになったら損害賠償を要求されます。その場合、道路管理者として県、市がどう対処していくのでしょうか。山主に責任を迫られると山を持ちたくなくなります。いい方法はないのでしょうか。行政の面からアプローチしていただければありがたいです。</p>	<p>&lt;防災無線と森林の管理について&gt;</p> <p>防災無線については、これまで議会で、廃止となる経緯、代替手段の説明をさせていただいてきました。携帯電話をお持ちでないかたや不慣れなかたには、自宅の電話もしくはファックスを登録すれば防災情報が届く電話ファックスサービスや、指定の電話番号に電話し防災情報を取得するテレフォンサービスへの登録をお願いしているところです。</p> <p>山の手入れは地主の義務になりますが、安全性の確保や環境保全が必要であることから公益性が高いものであるため、市の補助事業によるサポートや森林経営管理制度、県の「あいち森と緑づくり事業」など、行政主導での森林整備も進められています。岡崎市ではこれらの各種制度を充実させるため、継続的に取り組んでいきます。</p>
<p>&lt;少子化対策について&gt;</p> <p>高校卒業までの子どもを妊娠する準備、妊娠、妊活、出産、子育てにかかる費用を市で賄ってほしいです。岡崎市が率先して少子</p>	<p>&lt;少子化対策について&gt;</p> <p>あらゆる側面が少子化対策に繋がり得ると考え、様々な取組を行っています。例えば、岡崎市独自の取組として、国の新型コロナウイルス</p>

<p>化対策を進めてほしいです。女性のかたに聞くと経済的な負担があると聞きます。そういう女性の悩みを解消するために、妊娠の準備から高校卒業までの費用を全て市で負担してほしいです。岡崎市が始めれば、他の市も真似をする、人が移住してきて人口が増える、税金が増える、良いことばかりだと思います。</p>	<p>ス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して赤ちゃんが生まれると5万円を支給させていただいています。全てのことを岡崎市の財政で賄っていくというのは不可能です。国、県、市、みんなで力を合わせて、あらゆることが少子化対策、高齢社会対策ということに繋がっていくという思いで取り組ませていただいています。</p>
<p>&lt;新型コロナウイルスワクチン接種券の送付について&gt; 6カ月から4歳までの子どもの新型コロナウイルスワクチン接種が始まります。接種券の一律送付はやめて、接種を希望されるかたにはがきを送って申請するという形にしてほしいと思います。ワクチン接種の副反応、長期にわたる後遺症が最近になってやっとメディアに取り上げられており、慎重に子どもの接種を考えていただきたいので、ワンクッション置くという意味でも申請制にすることで考える機会を作っていただきたいと思います。</p>	<p>&lt;新型コロナウイルスワクチン接種券の送付について&gt; 岡崎市では、6カ月から4歳までの乳幼児につきましては、接種券は一律送付ではない形にさせていただいております。対象のかたに案内はがきをお送りし、接種を希望するかたは申請していただくことにしています。</p>
<p>&lt;共聴アンテナについて&gt; 額田地区は地上デジタルテレビ放送に変わってもテレビの電波が届かない地域があり、地デジ化に伴いクスネットワーク株式会社の光ケーブルを引いた家庭が多くありますが、まだ共聴アンテナを使っている地域があります。組合員の数も減っていて、管理がとても大変です。ある地域では全員がミクスに変えてしまったため共聴アンテナの機能を果たしていないのにケーブルやアンテナがそのまま残って放置されている状態だそうです。額田ではこういう状況が残っているということを知っておいていただきたいと思います。</p>	<p>&lt;共聴アンテナについて&gt; これまでに撤去した地区は地元で撤去費を負担しているため、公平性から補助金創設は難しいと考えておりますが、地域の状況等も考慮しながら、今後の検討課題としたいと考えております。</p>
<p>&lt;在宅医療について&gt; 岡崎は救急医療にとっても力を入れているというのはすごく実感するのですが、在宅医療に関してはまだ十分とは言えない状況で</p>	<p>&lt;在宅医療について&gt; おっしゃられるとおり在宅医療は必要だと思います。オクオカイノベーションの中にこのようなことも組み込んで、オクオカの医療・介</p>

<p>あるとも感じます。特に額田地域においては、高齢化で高齢単身世帯が増えています。もちろん救急医療は必要ですが、これから10年、20年先のことを考えると、できる限り在宅で自分のスタイルを持ちながら最後まで暮らせる医療介護の体制が必要だと思っています。それを叶えるためには現状の医療介護のシステムが整っていないということを危惧しています。まだまだ在宅医療の情報自体が知られておらず、実際に自分の身に何か起きて初めて知ったというかた、病院に行くしかない、施設に入るしかないと思っているかたが非常に多いです。在宅医療の情報を発信していくことはとても重要だと思っています。救急医療が必要なかたにとって岡崎市は十分、病院も整っていますが、それを望まないかたもこれから増えてくると思います。在宅で自分の好きなスタイルで暮らしていけるのが一番いいのではないかと思っていますので、箱モノにお金をかけるのであれば、岡崎市としてそういったところに力を入れていただきたいです。</p> <p>また、障がい者施設、特別養護老人ホーム、老人ホームなどの介護施設のスタッフ不足が非常にひっ迫しています。どこの施設も人材不足で夜勤が回らないと言っています。若者たちが働きやすい介護の環境を作っていけないと思います。</p>	<p>護・福祉はこうだ、ということをごひ打ち出していきたいです。</p> <p>地域包括ケアの中で、訪問診療、オンライン診療をやっていくためには何よりも医師会の先生方の御協力が不可欠だと思います。それから、岡崎市行政としても、例えば、医療だけに頼るのではなく、介護で担えるところは介護で担う、障がい福祉サービスで担えるところは障がい福祉サービスで担うという仕組みを作っていかなければならないと思います。これは、オクオカでやるべきことの1つだと思います。</p> <p>今般、民間事業者から移動販売車の提案があり、食料品や日用品の販売に合わせて、常設モニターによる専門職（薬剤師・管理栄養士・登録販売者）への健康・栄養相談の実施が予定されております。当該事業者からは医師との連携も検討されていることから、今後、関係課・機関との調整を進め、地域医療の充実に貢献できるよう推進していきます。</p>
<p>&lt;家康を学ぶ機会を作ったらどうか&gt;</p> <p>竹千代教育、竹千代塾、家康塾などを小学校、中学校、高校で実施し、どうして家康は250年間の平和の日本を作れたのかということを知る機会を作ったらどうかと思います。これこそが家康が生まれた地である岡崎でやるべきことだと思います。</p>	<p>&lt;家康を学ぶ機会を作ったらどうか&gt;</p> <p>市内では家康公検定や徳川家康公文コンクールが開催されたり、特に大樹寺のおひざ元の大樹寺小学校では家康に関する教育を実施しています。市内の小中学校では岡崎市教育委員会が発行した社会科郷土読本「おかざき」を活用し、授業で「おかざき学習」として岡崎の「ひと」「もの」「こと」について学習をしています。特に「ひと」では、徳川家康を始めとした、私たちの郷土で生まれ育った「先人」</p>

	<p>を教材として、その生き方を学び、その考えに迫る学習をしています。今後も各小中学校で「おかざき学習」を通じ、地域に対する愛着や未来社会を生きる力を育成する取り組みを進めていきます。また、今年度の新しい取り組みとして、小学6年生の希望者を対象に「ジュニア家康公検定」を行います。</p>
--	--

(了)